特集

初夏の磯釣りは何でもあり！

～強風時の仕掛けの入れ方～

そうなんです。春～初夏の磯フカセ釣りは、何でも釣れます。産卵後のクロ、乗っ込みマダイ、イサキ、そして、オナガグロ。離島のように、ロクマルとは言いませんが、40cm前後から50cmクラスなら、確実に居ます。

獲れる獲れないは別として。私は、どちらかと言うと、磯上がりした場所で、ここだったらクロメイン。ここだったら、イサキ・マダイが釣れるかな？と考えながら、マキエサ、仕掛けを作ります。

例えば、海底が見えているような磯とか、奥まった地形の磯、当て潮気味に潮が入って来る所は、クロメイン。逆に水深がある磯。岬の鼻とか、出っ張りの地形の磯。潮通しの良い磯は、イサキ・マダイ、運が良ければオナガも狙えるタックルを作ります。

実釣　坊津・松島

今回は、実釣メインで、マキエサや仕掛けを考えて行こうと思います。

ゴールデンウィークの5月3日、当日は、東寄りの風が非常に強く、アゴヒモをしていないと、帽子が風で飛ばされるか、体ごと海に落ちそうになるぐらいの強風。小潮の2日目でほぼ午前中が上げ潮で、昼からが下げ潮と言う感じの潮です。

乗礁したのは、坊泊の港からすぐの「松島本島の表」と言う磯で、夜釣りでも人気があり、イサキ、マダイを始め、昼釣りではクロやイシダイなども狙える水深のある磯です。

私もここは好きで、表・裏、小松島と、空いていたら喜んで乗ります。ただここは、1年中エサ盗りが居るため、慣れていないと、エサ盗りにもて遊ばれて、終わりと言うこともあります。

朝7時釣りスタート。まず足元にエサ盗り用のマキエを間断なく打って様子を見ます。潮の動きや、エサ盗りの種類や数がどの層まで出て来るのか、目で確認できるのは全てチェックします。

今回、エサ盗りがあまり気になるほどではないので、広くマキエサを打って、潮の動きを確認するのと、エサ盗りが沖に出ていくのか等をチェックします。

確認して解ったのは、「二枚潮」。表層は風の影響で右から左に。中層からは、逆に左からの上げ潮が入っているため、左から右で、やや当て気味の感じです。

ところで今回のマキエサは、マルキューのV9とグレの道、そして超遠投グレを使用しているため、グレの道と超遠投グレの白系の粉が、中層の潮の流れを教えてくれます。

これが分かるか、分からないかで、仕掛け作りや仕掛け投入点、仕掛けの入れ方等を押えることができます。また、今日のように**風が強い時は、きっちりマキエサをコントロールするために、アミやオキアミは、いつもよりつぶして粘りを出して、水は少なめで、丁寧に混ぜるようにします。**

仕掛けは図を参照して下さい。

同行の堀ノ内氏に、潮下に入ってもらって、私は、潮上からの釣りですが、どうも堀ノ内氏の仕掛けが、右からの強い風で、仕掛けがなじまずに左に流れてきます。

なので、「もう少し重くした方がいいヨ」と即アドバイスしても解っているのか疑問です？

結果から言うと、私がイサキ3尾、チャリコ（マダイの子）1尾、オオモンハタ2尾をキープ。堀ノ内氏が、最後に50cmオーバーのマダイ1尾。

●底潮に合す　ガン玉使いとエサ盗り対策

まず私の1尾目は、仕掛けが入り過ぎて底付近でオオモンハタ。次は、堀ノ内氏の正面の沖に、風と潮がぶつかって「ヨレ」ができていたので、そこに仕掛けを通して、本命のイサキ。2尾目は、ヨレは消えて無くなりましたが、このラインがいい流れだろうと考え、G2のジンタンをBに変え、少し深く探ってイサキ。その後は、またまたオオモンハタ。

仕掛けが入り過ぎている感じで、底潮が弱くなっていると考え、BのガンG2に戻して、ハリスの真ん中より上のG4をG5に軽くして、何投かしているとエサ盗りが沖に出ているようで、エサが吸われて上がってきます。油断してました。そこで、マキエサをウキより3mぐらい離して、右から左に、4杯ぐらいずつ打って様子を見ます。

要は潮下から潮上に連れてくる感じで打ちます。これを繰り返して、このマキエサの帯から沖には、エサ盗りが行かないようにします。その間もアタリはあり、魚に先手を取られてハリスはザラザラ。どうもクロが喰っているみたいです。タナが深く、ウキは沈んでいて、アタリが取りにくい。**ウキを浮かすと、風のエジキになり、ポイントからズレる**ので、今回は、クロが喰わないようにハリを大きくし、G4のジンタンをハリスの真ん中より下にズラします。これでチャリコ、イサキと釣れ、潮変りのはずですが、潮が動いてくれません。

ようやく動き出したのは、午後2時を過ぎてから。それも30分ぐらいですかね？　ただ、そのワンチャンスに、竿2本ぐらいのタナで沖を流していた堀ノ内氏に見事なマダイ。さすがです。私も真似て流すと来ましたヨ、でもマダイではなく、ヘダイ。しかも連続です。これでまた潮が止まったので終了です。

実釣　坊津・イナモリ瀬

ゴールデンウィークの5月5日、またまた坊津です。イサキが釣りたいのと、今日も東寄りの強風で、坊津に決めました。

今回、乗っている磯は房の灯台の手前のイナモリ瀬という磯で初めて乗ります。今回の潮は、長潮で、満潮が夜中の3時30分です。釣り開始の7時くらいは下げ潮で10時を過ぎて回収までは、上げ潮を釣るのですが、どうしても長潮はその時刻通り動いたことがないと思っているのは、私だけでしょうか？

乗った磯で、潮を見ながら感覚で釣りをした方がいいと思います。

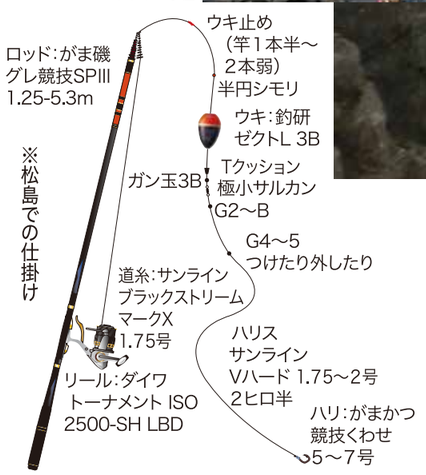
マキエサは、前回同様のオキアミ3kgを2角。ジャンボアミ1角。ツケエサ用にオキアミ半角、そして配合エサは、マルキューのV9徳用1袋、超遠投グレ1袋を準備して、これを2回に分けて作ります。前回、感じたのが魚の活性が低すぎるのと、今回は長潮で潮が動きにくい分、魚の活性を少しでも上げたいので、V9の徳用（大容量）にしてみました。

朝の7時釣り開始。足元にマキエサを入れて、潮、エサ盗りを確認します。エサ盗りは確認できませんが、潮が右方向に流れます。エッと思いましたが、カゴ瀬の水道から下げ潮が勢いよく流れているので、それに引かれる潮が、右に流れているみたいです。沖側も右流れで引かれているみたいです。潮的には逆潮ですが、潮が弱い時にこのような引かれ潮が起きるのは、当たり前なので、この潮に逆らわずに釣りを組み立てます。

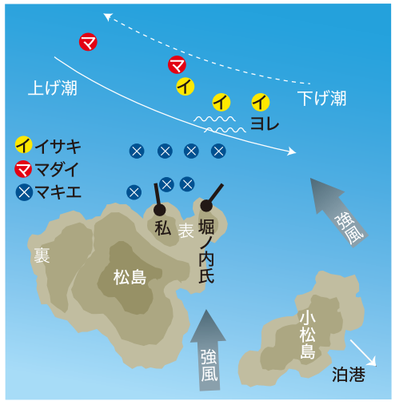
堀ノ内氏に見事なマダイ!!

松島にて強風の中
イサキ3尾、他
お土産出来ました!!

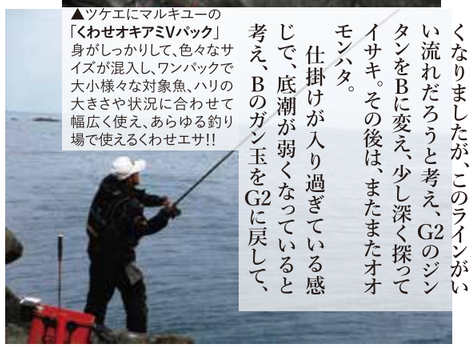
▶イサキ・マダイ狙いで深場を探る時は少し太めのハリスが安心できます。サンラインのハリスで使い分けするのも通ですヨ。



※松島での仕掛け



グレの道と超遠投グレの白系の粉が、中層の潮の流れを教えてくれます。



▲ツケエにマルキユーの「くわせオキアミVパック」身がしっかりして、色々なサイズが混入し、ワンパックで大小様々な対象魚、ハリの大きさや状況に合わせて幅広く使え、あらゆる釣り場で使えるくわせエサ!!

南のつりアドバイザー　野間辰美